

地域社会変動と住民諸階層の技能形成過程

北大大学院 柳田泰典

はじめに

成人の発達過程、この社会経済的性格は、産業構造変動を基軸とする地域社会変動のなかでとらえなければならない。

本報告は、成人を農民、漁民、商工業者、労働者に区分し、産業構造変動とそれぞれの技能形成過程を明らかにすることによって、成人の発達過程解明に接近しようとするものである。

尚、調査対象地は北海道網走支庁のT町で調査年は1980年、1981年である。

1. 住民諸階層の状態

T町の総人口は10,368人(1960年)から6,215人(1980年)へ、ここ20年間で4割減という急速な減少を示している。これらの人口動態、

年齢構成変化の特徴は、人口の大幅な減少と老令化の進展、44才以下層の減少と45才以上層の増加であり、さらに年齢階層的にみれば、29才以下層の激減と構成比の急速な低下、30才～44才層の減少と構成比の増加、45才以上層の増加と構成比

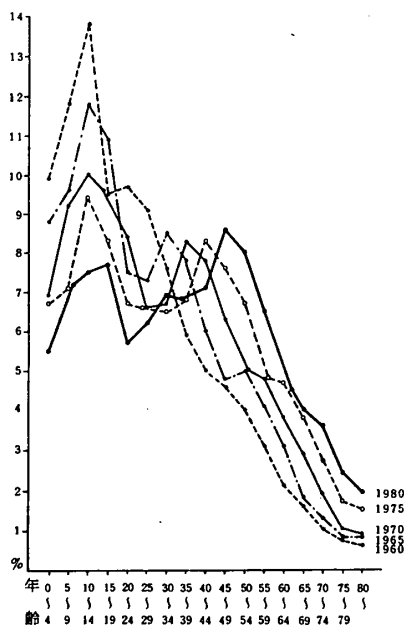


図1 年齢構成の推移

の増加という3つの年齢階層的展開を示している。

就業構造をみると、もっとも多いものは農林・漁業に従事する家族従業員である(22.5%)。以下、農林・漁業に従事する自営業主(17.1%)、鉱工・運通に従事する民間労働者(14.7%)、商業・金融・サービス業に従事する民間労働者(8.3%)、商業・金融・サービス業に従事する公務員(7.8%)の順となっている。

これらの構造分析は省略するが、T町は人口の大幅な減少、老令化の進展のなかで、中間層(自営業者層)の激減、女子労働者の増加がすすみ中間層と労働者が拮抗した地域になっている。

2. 住民諸階層の状態と技能形成過程

住民諸階層の状態を農民、漁民、商工業者、労働者について分析し、それぞれについて現段階における技能形成過程の特徴を分析する。

1) 農業の現状と農民の技能形成

T町の農業は、この20年間に約半数におよぶ農家が離農するという激しい階層分解を経験してきた(689戸→342戸)。そして現在では1戸当り耕地面積が11.9haとなっている(60年は6.3ha)。このような激しい階層分解のなかで、T町農業は機械化、農業の専門化(作付構成の専門化、経営の専門化)、大型機械・施設の共同利用、地域的利用を進展させてきた。

農民の技能形成は、第1に、農業の機械化、専門化、共同利用の進展に対応して進展している。第2に、技能形成は断行的に発展している。これは生産技術の技能形成の前進と経営に関する技能形成のちがひである。第3に、この社会的形成と個別経験的形成の並存過程である。第4に、これらの形成過程は階層、経営形態、さらに、経営主、経営主の妻、後継者、後継者の妻などちがひをもっている。第5に、共同利用組合の進展、共同作業の進展によって会計、機械係などの専門的労働の分化がすすんでいるといえよう。

2) 漁業の現状と漁民の技能形成

下町の漁業は1972年をさかいに急速に発展してきた。これは、はたて漁、さけ漁の急速な伸長によるものであるが、とくにはたて漁の伸長はめざましく、総生産額が1971年の3億6千万から1977年には18億5千万円へと5倍以上に増大する。

漁民の技能形成は、基礎的、専門的知識の不十分さをもちながら漁業生産手段の発展、社会的規制の強化の中で各種の免許、資格取得を行なうというかたちで進展している。また、実際の漁法などは仲間、父親から学び自力で修得していくが、新たな漁法の模索においては水産普及所等の社会的機関との関係をはかめるとともに先進地視察、研修の占める比重が高くなる。

3) 商工業者の現状と技能形成の特徴

下町の商工業は基幹的地域産業である農漁業の発展を基礎に伸長してきた。すなわち商工業の近年の伸長は、第1次産業の発展に支えられたはたて加工等の製造業の拡大、町内消費購買力の増大を基礎にしている。しかし、

人口の急速な減少とともに北見商業圏に強く編成され購買力が流出するという問題にも直面している。

商工業者の技能形成は、経営主と後継者との間に大きなちがひがある。その特徴は第1に、経営主と後継者の学歴上の格差である。第2に、後継者にみられる取得免許、資格の多さとその格差である。第3に、後継者の専門的知識、技能、免許、資格は経営発展の大きな要因となっている。第4に、後継者は大学等を卒業後、現在の経営と同じかまたは異なる産業で労働者として働いた経験を持ち、そこで経験を積みながら免許、資格等を取得している。

4) 労働者の現状と技能形成の特徴

労働者は、官公庁、組合（農協、漁協等）に勤務する常用労働者と勤務の不安定な臨時、日雇い、パート労働者（不安定階層）との二重構造、町外からの移動者の多さ、生活条件（とくに住宅）の貧弱さを特徴としている。

労働者の技能形成の特徴は、第1に、労働者にとって免許・資格の取得は、就労を安定的に確保するための重要な要因となっている。第2に、官公庁、組合につとめる労働者と民間に働く生産的労働者との間、専門的労働者とそれ以外との間にそれぞれ技能形成にちがひをもっている。

3. まとめ

これらの技能形成過程を、技能形成の基礎的推進力、技能形成の形態、技能形成の階層性、技能形成の地域構造にとくしてまとめる。